

# 第1学年 道徳科学習指導案

令和4年10月20日（木）第5校時

- 1 主題名 よいと思うことはすすんで 内容項目【A 善悪の判断、自律、自由と責任】
- 2 ねらい 友達からの誘いと約束とで迷いながらも、自分で「してはいけないことはしない」と決めることができたぽんたの気持ちを考えることを通して、自らよいと思うことを進んで行い、危ないことはしないという判断力を育てる。

教材名 「ぽんたと かんた」（出典：「わたしたちの道徳1・2年」文部科学省）

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

本主題は、小学校学習指導要領の内容項目A「主として自分自身に関する事」の「善悪の判断、自律、自由と責任」、第1学年及び第2学年「よいことと悪いこととの区別をし、よいことを進んで行うこと」をねらいとしている。これは、第3学年及び第4学年の「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと」、第5学年及び第6学年の「自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること」へと発展していく。

本指導内容は、物事の善悪についての的確に判断し、自ら正しいと信じる場所に従って主体的に行動することに関するものである。低学年の段階においては、何事にも興味、関心を示し、意欲的に行動することが多い反面、まだ集団生活に十分に慣れていないために、引っ込み思案になったり物おじしたりすることもある。そのために、悪いことと知りつつも周囲に流されてしまったり、自分の弱さに負けてしまったりすることもある。悪いと分かっているのに、誘惑に負けてしまうという弱さや、様々なことに興味をもつ気持ちも踏まえた上で、よいことと、人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を育てたい。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、物を落とした友達がいるとすぐに拾ってあげたり、忘れ物を友達に渡してあげたり、困っている友達がいると「どうしたの。」と声をかけたりする姿が多く見られる。

これまでに、「はりきり いちねんせい」の教材を通して、よいことと悪いことを区別し、よいことを進んで行う大切さに気付くことができた。しかし、遊びの中でつい楽しくて、仲良しの友達につられて善悪の判断が鈍くなることがある。「校内では静かに過ごす」という約束があるものの、雨の日の休み時間に教室で追いかけて遊ぶ姿や、自習の時間に隣の席の子に話しかけてしまう姿が時々見られる。そこで、これまでにやってはいけないと分かっているのに、ついやってしまったことはないか実態を把握するために事前に意識調査を行った。

本主題に関する意識調査 30名（9月14日実施）

質問事項	回答（複数回答あり）
1 よいことにはどんなことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お手伝いをする（20人）</li> <li>・約束を守る（8人）</li> <li>・時間を守る（3人）</li> <li>・あいさつをする（6人）</li> <li>・話をしっかり聞く（5人）</li> </ul>
2 悪いと分かっているけど、やってしまったことはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下を走ってしまった（16人）</li> <li>・チャイム着席ができなかった（4人）</li> <li>・清掃中にしゃべってしまった（4人）</li> <li>・友達を叩いてしまった（1人）</li> <li>・黙食ができなかった（1人）</li> <li>・ご飯を残した（1人）</li> <li>・ゲームをたくさんしてしまった（1人）</li> <li>・片付けができなかった（1人）</li> </ul>
3 どうしてやってしまいましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びたかったから</li> <li>・ちゃんと考えてなかったから</li> <li>・早く行きたかったから</li> <li>・話をしたかったから</li> </ul>

日常の様子では、配付物の手伝いなど、よいことを進んですることがよくあるが、目先の楽しいことや、自分のことだけを優先して考えて行動してしまい、迷惑をかけて後悔している姿を見ることがある。意識調査の結果からも、廊下を走ることは悪いと分かっているながらも、「遊びたい」「早く行きたい」という気持ちからやってしまったことがうかがえる。自分のやりたい気持ちを優先してしまい、考えて判断することができていない児童もいるようである。

そこで、本教材を通し、友達からの誘いと約束とで迷いながらも、自分で「してはいけないことはしない」と決めることができたぼんたの気持ちを考えることで、よいことを進んで行うことの素晴らしさに気付くとともに、自らよいと思うことを進んで行い、危ないことはしないという判断力を育てる。

### （3）教材の特質や活用方法について

本教材は、よいことと悪いことの区別をし、自分の判断に自信をもって行動に移すことについて考えることを通して、ねらいに迫るものである。

仲良しのぼんたとかんたは、公園で一緒に遊んでいたが、ぼんたが止めるのも聞かず、かんたが入ってはいけない裏山に行ってしまう。ぼんたはじっと考えて、大きな声で「ぼくは行かないよ。だってあぶないから。」と叫ぶ。その声に驚いて、かんたが裏山から飛び出してくる。そして、かんたも自分で考えて裏山に行かないことに決め、二人で気持ちよく公園で遊ぶという話である。

場面は違っても、「少くなら」「平気だろう」など児童の日常生活にも似たようなことがあり、二人の思いを想像しながら自分自身のことと重ね合わせて自我関与させ、よいことを進んで行うことについて考えることができる教材である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合い、ねらいに迫る。

- ① 仲良しのかんたに「ふたりで行こうよ」と行ってはいけない裏山に行こうと誘われ、ぼんたがひとりでじっと考える場面

ここでは、遊びたいぼんたはどんな気持ちか、行ってはいないと思ったぼんたはどんな気持ちかを分けて考えさせ、「行ってはいけないと言われているが、遊びたい」という葛藤に共感させる。

- ② ぼんたが「ぼくは行かないよ」と大きな声で言った場面

ここでは、行かない理由を考えることで、危ない目にあうかもしれないから行かないほうがいいというように、「よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。」という内容項目と自分を関わらせて考えさせ、判断力を育てることができるようにする。

- ③ ぼんたとかんたがブランコに乗っている場面

ここでは、約束を守り、よいことをすることは、清々しくよい気持ちになることに気付かせる。

以上のことを踏まえ、「善悪の判断、自律、自由と責任」についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える活動を通して、自己の生き方についての考え方を深めたいと考え、本主題を設定した。

#### 4 学習指導過程

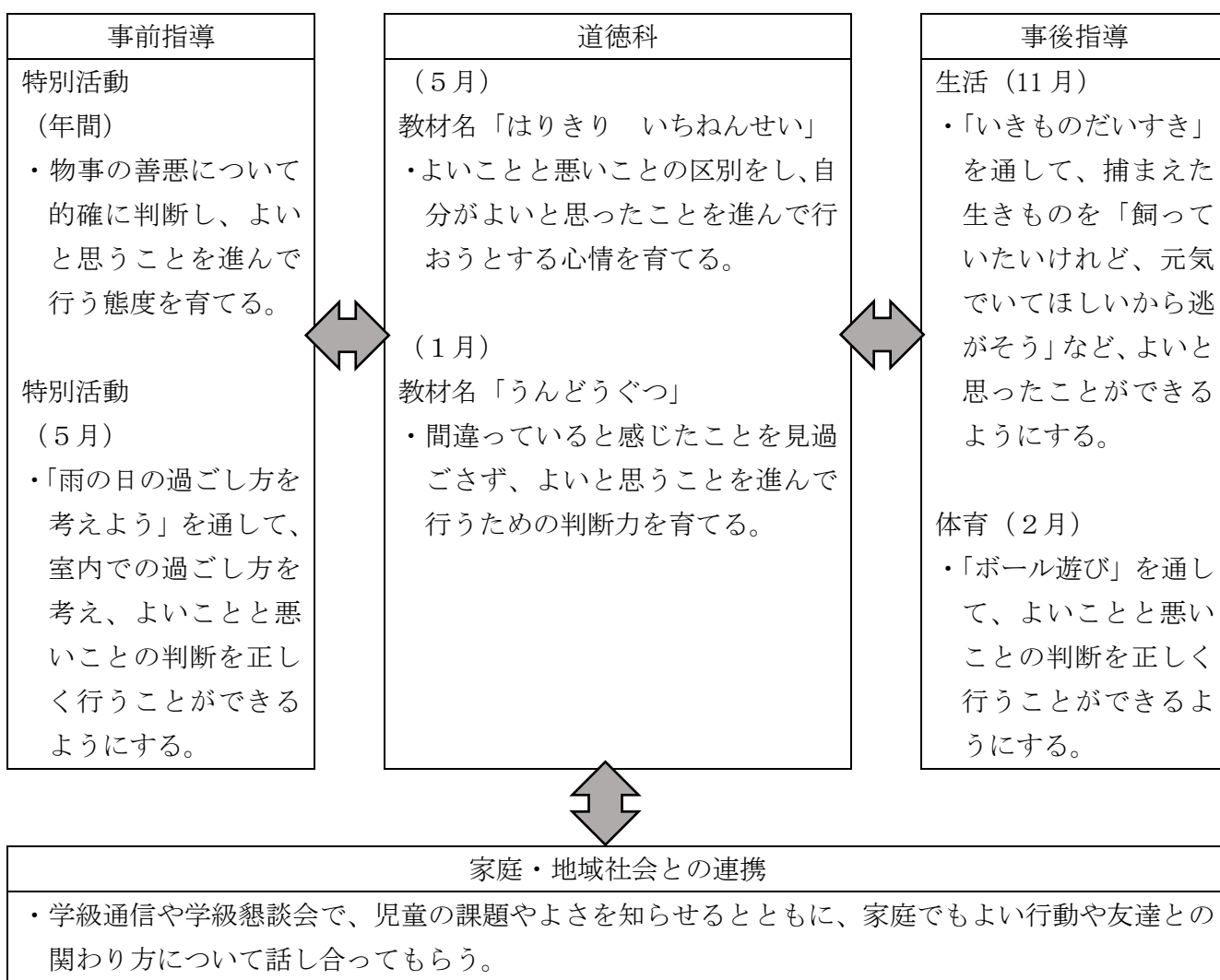
段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の視点	時間
導入	1 アンケート結果から課題意識をもつ。 ○悪いと分かっているもやってしまったことはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話をせずに並ぶことができなかった。</li> <li>・廊下を走ってしまった。</li> <li>・自分も同じだな。</li> <li>・分かっているも、それができないときがあるよね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの日頃のよい部分を取り上げながら、アンケートの結果を提示して、してはいけないことと分かっているも、してしまったことがあることを確認し、本時の道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>	3分
展開	2 教材の登場人物と条件・状況を知る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・秘密基地の魅力を確認することで登場人物に共感しやすくする。</li> </ul>	2分

展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【登場人物】</b> ・ぼんた ・かんた</p> <p><b>【条件・状況】</b> ・大の仲良しのぼんたとかんたは学校から帰って公園で遊んでいた。かんたは公園の裏山で秘密基地を見つけ、ぼんたを誘うために声をかける。</p> </div>			
	<p>3 教材「ぼんたとかんた」の読み聞かせを聞き、話し合う。</p> <p>○ぼんたが一人でじっと考えたのはどうしてでしょう。</p>	<p>・遊びたいけど、行ったらいけないと思ったから。</p>	<p>・登場人物が悩んだときの気持ちを捉えやすくしたり、誘いを断った理由を考えやすくしたりできるように、主題に迫る重要場面の途中で話を切り、読み聞かせをする。</p> <p>・本文の「あそびたいな。でも…」から、悩んだときにどう判断すべきなのか考えるため、本時の課題を提示する。</p>	5分
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なやんだときに よいとおもうことができるかな。</p> </div>			
	<p>○遊びたいぼんたは、どんな気持ちでしょう。また、行ってはいけないと思ったぼんたは、どんな気持ちでしょう。</p>	<p><b>【行きたい】</b> ・秘密基地に行きたい。 ・楽しそう。 ・友達にも自慢できる。 ・かんたは仲良しの友達だから断りたくない。</p> <p><b>【行かないほうがよい】</b> ・ばれたら怒られる。 ・けがをするかも。 ・危険かもしれない。 ・きまりだから。</p>	<p>・「行きたい理由」と「行かないほうがよい理由」を明確にし、ぼんたの揺れる気持ちに共感しながら、「行かないほうがよい理由」を考えることができるようにする。</p> <p>・板書を工夫しながら、心の揺れを引き出すようにする。</p>	5分
	<p>○ぼんたが「ぼくは行かないよ」と言ったのはどうしてでしょう。</p>	<p>・ぼくは行かないよ。怒られちゃうよ。 ・ぼくは行かないよ。だってあぶないから。 ・ぼくは行かないよ。だ</p>	<p>・教師がかんた役、児童がぼんた役の役割演技を行う。</p> <p>・「行きたい」けど「行かないほうがよい」という揺れ動く気持ちを役割演技を通して体</p>	10分

<p>展開</p>	<p>(補助発問) ○行かないことに決めたぼんたのことをどう思いますか。</p> <p>○裏山に行かなかったのに二人が楽しそうにしているのはどうしてでしょう。</p> <p>○ぼんたのように悩んだときは、どんなことを考えたらよいのでしょうか。</p> <p>4 今日学習を振り返りながら、授業で考え、感じたことを書く。</p>	<p>って裏山は入ってはいけない場所だから。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは行かないよ。危ないし、行かないほうがよいと自分で考えたよ。</li> <li>・えらいな。</li> <li>・行きたい気持ちに勝つなんてすごい。</li> <li>・ぼんたみたいに行かない方に決めてみたい。</li> <li>・約束を守ることができたから。</li> <li>・自分で考えてよい行動ができたから。</li> <li>・まずは、よいことなのか悪いことなのかよく考えてみる。</li> <li>・自分が気持ちよいと思えるような、よいことの方を選びたい。</li> <li>・正しい行動をするとよい気持ちになる。</li> <li>・悩んだときには自分で考えてよいことをしたい。</li> <li>・悪いと分かっているこ</li> </ul>	<p>感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的な視点で「行かない方がよい」理由を考えられるようにし、行かないほうがよいと判断するぼんたを自分と重ね合わせて考えられるようにする。</li> <li>・役割演技の際、仲良しのかんたが待っていることや、楽しいことがたくさんあることなど、揺さぶりの問い返しをする。</li> <li>・「怒られてしまうから」などの他律的な考え方については、「黙っていればばれない。」等の揺さぶりをかけ、「自分で考えた」というような自律的な考え方が出るようにする。</li> <li>・正しいことをしたときは、清々しくよい気持ちになることに気付かせる。</li> <li>・具体的な場面を想起しながら考えられるようにする。</li> <li>☆よいと思うことを進んで行うことの大切さについて、多面的・多角的に考えている。</li> <li>・アンケートを振り返り、自分との関わりで考えられるようにする。</li> <li>☆よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うことの大切さについて、自</li> </ul>	<p>3分</p> <p>10分</p> <p>5分</p>
-----------	---	---	--	--------------------------------

		とは、やらないことが大切。	分との関わりで考えている。	
終末	5 教師の説話を聞く。		・日常生活の具体的な場面の話を聞き、自分で考えてよい行動を進んで行おうとする意識が高まるように、余韻をもって終わるようにする。	2分

## 5 他の教育活動との関連



## 6 評価の視点

### 【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・よいと思うことを進んで行うことの大切さについて、多面的・多角的に考えている。

### 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うことの大切さについて、自分との関わりで考えている。

ぽんたとかんた

ぽんた

かんた

秘密基地

☆よいとおもうことが できるかな

○ぽんたがひとりできつとかんがえたのは、  
どうしてでしょう。

あそびたい  
いきたい



いってはいけない



- ・ひみつきちにいきたい。
- ・たのしそう。
- ・ほかのともだちにも  
じまんできる。
- ・なかよしだから。

- ・ばれたらおこられる。
- ・けがをするかも。
- ・きけんかもしれない。
- ・きまりだから。



○「ぼくはいかないよ、だって…」

- ・おこられちゃうよ。
- ・だつてあぶないから。
- ・だつてうらやまははいつてはいけないばしょだから

○「おらんこにのつているふたりは  
どりようなきもちだつたをしよう

- ・きもちがいい。
- ・すつきりしたきもち。
- ・やくそくをまもることができたから。

